



## 2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年11月7日

上場会社名 株式会社カチタス 上場取引所 東  
 コード番号 8919 URL <http://katitas.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 新井 健資  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長兼総務部長 (氏名) 横田 和仁 TEL 03-5542-3882  
 四半期報告書提出予定日 2019年11月14日 配当支払開始予定日 2019年11月26日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第2四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	47,419	19.1	5,588	24.1	5,479	24.4	3,690	22.8
2019年3月期第2四半期	39,818	18.9	4,503	29.9	4,403	31.8	3,005	35.1

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 3,690百万円 (22.8%) 2019年3月期第2四半期 3,005百万円 (35.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	96.81	94.72
2019年3月期第2四半期	80.27	77.12

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	48,937	22,160	45.1
2019年3月期	47,406	19,348	40.7

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 22,066百万円 2019年3月期 19,273百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	26.00	—	26.00	52.00
2020年3月期	—	27.00	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	—	—	27.00	54.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	89,872	10.5	10,356	13.7	10,094	15.5	6,805	14.8	178.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	39,325,320株	2019年3月期	39,325,320株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	1,133,966株	2019年3月期	1,261,981株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	38,121,589株	2019年3月期2Q	37,444,170株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

当社は、2019年11月12日（火）に機関投資家向け説明会を開催する予定です。

当日使用する四半期決算説明資料は、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善から個人消費は緩やかな回復基調にあるものの、工業生産の低調を背景とする企業収益の弱含みや2019年10月に実施された消費税増税後の景気の減速懸念などから先行き不透明な状況となっております。

当社グループは、地方都市及び地方都市郊外の中低所得者層を主な顧客層として「新築」「中古」「賃貸」に代わる「第四の選択肢」を提供することを目指し、商品化が難しい築古の戸建物件をリフォームして、物件に価値を足して販売しております。

このような状況の中、販売面においては、消費税増税前の9月中に引渡しを希望されるお客様が集中し、9月に引渡しが大きく前倒された結果、売上高が伸びました。なお、当第2四半期連結会計期間末の販売用不動産及び仕掛販売用不動産は、当初計画を上回り販売した件数相当の在庫が不足している状態となっております。

利益面においては、仕入前の三者立会い調査でリスクを低減する取組みやリフォーム中契約の促進及び値引きを抑える等の販売時の取組みを継続的に行いましたが、長期在庫の販売の促進により売上総利益率は低下いたしました。一方、販売費及び一般管理費については引き続きコスト意識を高く持ち運営したことや上述の引渡し件数の前倒しにより営業利益率は伸びました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績については、販売棟数は3,062棟（前年同四半期比17.5%増）、売上高は47,419百万円（前年同四半期比19.1%増）、営業利益は5,588百万円（前年同四半期比24.1%増）、経常利益は5,479百万円（前年同四半期比24.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3,690百万円（前年同四半期比22.8%増）となりました。

なお、当社グループは中古住宅再生事業を単一の報告セグメントとしており、その他の事業については量的重要性が乏しいため、記載を省略しております。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産の状況

## (流動資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は、46,721百万円となり、前連結会計年度末の45,058百万円から1,663百万円の増加となりました。これは主に、販売用不動産及び仕掛販売用不動産が207百万円減少した一方、現金及び預金が2,044百万円増加したことによります。

## (固定資産)

当第2四半期連結会計期間末における固定資産は、2,215百万円となり、前連結会計年度末の2,348百万円から132百万円の減少となりました。これは主に、有形固定資産が6百万円、無形固定資産が99百万円、投資その他の資産が26百万円それぞれ減少したことによります。

## (流動負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は、7,044百万円となり、前連結会計年度末の7,964百万円から919百万円の減少となりました。これは主に、買掛金が363百万円、未払法人税等が173百万円、賞与引当金が178百万円それぞれ減少したことによります。

## (固定負債)

当第2四半期連結会計期間末における固定負債は、19,732百万円となり、前連結会計年度末の20,093百万円から361百万円の減少となりました。これは主に、長期借入金375百万円の返済によるものであります。

## (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、22,160百万円となり、前連結会計年度末の19,348百万円から2,812百万円の増加となりました。これは主に、剰余金の配当989百万円を行った一方、親会社株主に帰属する四半期純利益を3,690百万円計上したことによります。この結果、自己資本比率は45.1%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ2,044百万円増加して9,440百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間の営業活動の結果得られた資金は3,374百万円（前年同四半期は1,220百万円の収入）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益を5,479百万円計上し、たな卸資産の減少額が210百万円あった一方、仕入債務の減少額が363百万円及び法人税等の支払額1,910百万円があったことによります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間の投資活動の結果使用した資金は26百万円（前年同四半期は0百万円の支出）となりました。これは主に、有形固定資産の売却による収入1百万円があった一方、有形固定資産の取得による支出14百万円及び投資有価証券の取得による支出10百万円があったことによります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間の財務活動の結果使用した資金は1,303百万円（前年同四半期は1,220百万円の支出）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出375百万円及び配当金の支払額988百万円があった一方、自己株式の処分による収入63百万円があったことによります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2019年5月10日の「2019年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,395	9,440
販売用不動産	25,652	22,476
仕掛販売用不動産	11,164	14,133
その他	846	672
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	45,058	46,721
固定資産		
有形固定資産	729	722
無形固定資産		
のれん	793	694
その他	29	28
無形固定資産合計	822	722
投資その他の資産		
その他	810	783
貸倒引当金	△14	△13
投資その他の資産合計	796	770
固定資産合計	2,348	2,215
資産合計	47,406	48,937
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	3,105	2,741
1年内返済予定の長期借入金	750	750
未払法人税等	1,995	1,821
賞与引当金	262	84
工事保証引当金	255	270
訴訟損失引当金	1	0
その他	1,593	1,375
流動負債合計	7,964	7,044
固定負債		
長期借入金	20,000	19,625
役員退職慰労引当金	62	73
その他	31	33
固定負債合計	20,093	19,732
負債合計	28,057	26,776
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,778	3,778
資本剰余金	3,640	3,640
利益剰余金	13,088	15,755
自己株式	△1,233	△1,108
株主資本合計	19,273	22,066
新株予約権	74	94
純資産合計	19,348	22,160
負債純資産合計	47,406	48,937

## （2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第2四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2018年4月1日 至 2018年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）
売上高	39,818	47,419
売上原価	30,741	36,870
売上総利益	9,077	10,548
販売費及び一般管理費	4,574	4,960
営業利益	4,503	5,588
営業外収益		
受取手数料	5	5
受取保険金	5	1
その他	7	6
営業外収益合計	18	13
営業外費用		
支払利息	95	93
その他	22	28
営業外費用合計	117	122
経常利益	4,403	5,479
特別利益		
固定資産売却益	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産除却損	—	0
災害による損失	16	—
特別損失合計	16	0
税金等調整前四半期純利益	4,388	5,479
法人税、住民税及び事業税	1,497	1,736
法人税等調整額	△114	52
法人税等合計	1,382	1,789
四半期純利益	3,005	3,690
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,005	3,690

（四半期連結包括利益計算書）  
 （第2四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2018年4月1日 至 2018年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）
四半期純利益	3,005	3,690
四半期包括利益	3,005	3,690
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,005	3,690

## （3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2018年4月1日 至 2018年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	4,388	5,479
減価償却費	29	24
のれん償却額	99	99
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△0	△0
賞与引当金の増減額（△は減少）	△49	△178
工事保証引当金の増減額（△は減少）	12	14
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	19	10
訴訟損失引当金の増減額（△は減少）	5	△0
災害損失引当金の増減額（△は減少）	13	—
支払利息	95	93
有形固定資産売却損益（△は益）	△0	△0
株式報酬費用	19	20
たな卸資産の増減額（△は増加）	△2,419	210
売上債権の増減額（△は増加）	0	△2
仕入債務の増減額（△は減少）	43	△363
その他	225	△26
小計	2,481	5,380
利息の支払額	△95	△95
法人税等の支払額	△1,166	△1,910
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,220	3,374
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△3	△14
有形固定資産の売却による収入	4	1
貸付金の回収による収入	0	0
投資有価証券の取得による支出	—	△10
その他	△0	△2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△0	△26
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△375	△375
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△3	△3
配当金の支払額	△970	△988
自己株式の取得による支出	—	△0
自己株式の処分による収入	129	63
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,220	△1,303
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△0	2,044
現金及び現金同等物の期首残高	4,063	7,395
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,063	9,440

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 2018年4月1日 至 2018年9月30日）

当社グループは、中古住宅再生事業を単一の報告セグメントとしており、その他の事業については、量的重要性が乏しいため、記載を省略しております。

II 当第2四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）

当社グループは、中古住宅再生事業を単一の報告セグメントとしており、その他の事業については、量的重要性が乏しいため、記載を省略しております。